

第1号様式（第3関係）

平成26年度第3回豊山町障害者福祉審議会議事録

1 開催日時 平成26年12月24日（水）午後2時00分～3時10分

2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3

3 出席者

(1) 委員

（会長）池山武志、（副会長）櫛田眞壽美、千野幸男、佐藤一雄、丹羽孝旨、
坪井径子、熊沢洋子、大野いつ子（欠席：小野尚美、大口利恵子）

(2) 事務局

福祉課長 小川淳之、福祉・少子係主査 四浦かおり、
福祉・少子係主事 荒尾竜也

4 議題

(1) 第4期豊山町障害福祉計画（案）について

(2) その他

5 会議資料

・第4期豊山町障害福祉計画（案）

6 議事内容

1 開会

【事務局】

それでは、ただ今より、平成26年度第3回障害者福祉審議会を開会いたします。委員の皆様には日ごろから町の障がい福祉にご尽力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

なお、本日は手話通訳者の方に出席していただいております。会議の発言についても、手話通訳者を介して行っていただくことをご了解いただきますようお願いいたします。

議題に入る前に審議会等の議事録についてお話をさせていただきます。町で

は、議事録をホームページに掲載することになっております。本審議会もその対象になりますのでご了承いただきたいと思ひます。

また、議事録の内容につきましては、委員の確認が必要となります。後ほど会長から議事録署名委員2名を指名していただきます。指名がありました委員には後日、事務局から署名をもらいに伺ひますのでよろしくお願いしします。

それでは、審議会に先立ちまして池山会長より、ご挨拶をいただきたいと思ひます。会長よろしくお願いしします。

【会 長】

年の瀬も押しせまりたいへんお忙しい中、この審議会にご出席いただきありがとうございます。本日は、第4期豊山町障害福祉計画についてご審議いただきます。事前に資料が配布されておりますので、事務局においては、ポイントだけ説明をしていただきたいと思ひます。この素案は最終的に冊子になるため、冊子の体裁がこれでよいか、また内容については、これでよいか、足りないところはないか等検討いただき、ご忌憚のない意見を賜りますようお願い申し上げます。

【事務局】

ありがとうございました。議事進行につきましては、これより会長にお願いいたします。

【会 長】

それでは、ただいまから、議事の進行をさせていただきます。まず、会議録署名委員の指名ですが、櫛田委員と千野委員にお願いします。後日、事務局が本日の会議録に署名をいただきに伺ひますので、よろしくお願いしします。それでは、次第に沿ひまして、議題（1）第4期豊山町障害福祉計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

2 議題

第4期豊山町障害福祉計画（案）について

【事務局】

資料「第4期豊山町障害福祉計画（案）」に基づき説明

【会 長】

事務局からの説明が終わりました。審議の進め方ですが、まず「第4期豊山町障害福祉計画（案）」を読んでいただき追加したほうがよい項目や事業があればご意見をいただきたいです。次に個々の内容について質問があれば質問していただいたうえで、その内容について理解いただきたいと思ひます。その次に障害福祉計画の形体がこれでよいかご確認いただくという方法で進めたいと思ひます。委員のみなさまいかがでしょうか。

【委 員】

この計画に記載のある事業は、昨年が続いて行っている事業だと思ひますが、達成できたことをリストアップしていただきたい。25年度で達成できたことと、達成できなかったことを付け加えていただきたい。何がどうなったかわかりづらいです。

【会 長】

この件につきましては、個々のサービスについては、過去の実績の記載はありますので、この他に何かあればということですね。記載してあること以外で達成できたことがあれば記入頂くということですね。

【事務局】

今質問がありました、平成25年度で達成できたことですが、今日の資料の8ページ以降に個々のサービスについて、平成24～26年度の利用実績をもとに、平成27～29年度までの目標を設定しています。従いまして、平成24～26年度までの実績について掲載をしております。ただ26年度については、年度途中ですので、見込みとして掲載です。

【会長】

ここに、記載のある事業がすべてということでしょうか。

【事務局】

障害福祉サービスについては、このような内容で行っています。

【会長】

委員が言われるように、冒頭に記入するということではなく、個別に記載しているのでこれでいかがでしょうかということですね。

【委員】

わかりましたが、実績が0という年度の記載があります。目標が0という記載は、記載方法としておかしいです。

【会長】

私も、活字になった時の体裁を考えると、実績が0ということに記載するのは、福祉課は実施しないと誤解されます。計画に項目が挙がっていないと、実施しないということになってしまうので、項目には挙げておいて、3期実績と4期の見込みの数値を記載を記入しないほうが冊子としての体裁はいいのではないかと。たとえば22ページの自発的活動支援事業についてですが、第4期の見込みが未実施となっています。実際に要望がなかったのか、事業ができなかったのか、今後やれる見込みがないのかどうでしょうか。

【事務局】

まず数値目標の記載の仕方、実績を踏まえて目標の設定していますので実際に数値を挙げていいのかということと、表記の仕方もこれでいいのかということがあります。今後の利用者動向を踏まえて検討していきたいと思えます。表記方法については、検討します。未実施という記載については、町としてすべての事業を実施できるわけではないため、実施できるところから進めていくということになります。記載方法については、検討します。

【会長】

これは、形式の問題ですね。事務局のほうで検討していただければいいと思います。内容について、取り上げてほしいという項目があれば挙げていただきたい。

【委員】

前回の計画でも同じような記載はありますが、なかなか実現していないようです。相談支援事業についてもそうです。

【会長】

具体的にイメージしていることがあれば、挙げていただいたほうがいいですね。町独自でやれるのか、県や他の機関と連携してやっていくのかということを検討していくことになると思います。

【委員】

24ページに記入してある、専門性の高い必要な支援ということが実際に行われれば問題ないですが、具体的に言うと社会福祉協議会に専門性の高い相談員を置いて頂きたいと思えます。16ページの計画相談支援についてですが、前回聞いたところだと計画相談が1/3残っているとのことですが、いかがですか。

【事務局】

計画相談については、平成24年度から順次実施し、平成26年度末までにすべてのサービス利用者に対して実施することとなっています。平成27年3月の区分審査会対象者を除いてほぼ実施できています。平成26年度末までにはその方たちの計画相談を実施する予定です。

【委員】

計画相談やモニタリングで、相当な数の計画相談を実施していくこととなりますが、相談支援事業所である福祉の杜は飽和状態です。町としても人員を確保し、相談支援専門員を1名置いてほしいです。

【会長】

言われることは、よくわかりますが、予算のこともあり、どこまで行政が手を差し伸べられるのか難しい問題です。町の予算を全部執行したとしてもできない事業もあります。早急に実施するもの、中期的に実施するもの、長期的に実施するものがあり、町の事業はそれを区別して実施しています。どこまで予算化できるかは、福祉課の手腕にかかっています。この審議会では、項目が挙がっていれば、将来的には実施されるという可能性がありますので、みなさまからのご意見を聞き計画に取り込めるものがあれば取り込んでいただくということはどうですか。とにかく、予算獲得には、努力をしていただきたいと思います。その他何かありますか。

【委員】

21ページの手話奉仕員養成研修事業ですが、実施するとなっていますが具体的にどんなことをやっていただけるのですか。

【事務局】

毎年、手話奉仕員養成講座を町の社会福祉協議会に委託して開催しています。豊山町では、毎年入門、基礎課程を交互に実施しています。新年度からも継続して実施予定です。

【委員】

理解促進研修・啓発事業ですが、平成27年度から実施となっていますが、具体的にどんなことをやっていただけるのですか。

【事務局】

理解促進研修・啓発事業については、障がい者に対する理解を深めるための事業です。障害者団体からの申請により町の出前講座を通して啓発を実施していきます。

【委員】

平成26年度までは、実施がないですね。

【事務局】

平成24～26年度までも、出前講座は実施しておりました。ただ、理解促進研修・啓発事業は、国から進めてほしいという事業に挙げられています。今までも実施していますが、理解促進研修・啓発事業としては、平成27年度から項目を設けて実施していくということです。

【委員】

平成24年度、平成25年度に、心身障害者協会の総会で出前講座を利用しました。自分たちのわからないことについて福祉課により講座を実施してもらいました。最近、法律がどんどん変わっているので、わからないことや、新しい情報を教えていただくことは、必要だと思います。

【会長】

団体からの要請があれば、積極的に応えてほしいと思います。

【委員】

手話通訳者設置事業についてですが、平成27年度から1人となっていますが、ぜひ実施してほしいと思います。また「通訳者等のスキルアップのた

めの研修会等の情報提供をします」とありますがどんなことをしていただけるのですか。

【事務局】

町としての実施はありませんが、県が実施しているスキルアップの研修があれば情報を提供するという事です。

【委員】

町として実施してほしいです。手話通訳者の登録制度が始まっていますので町として開催してほしいと思います。

【事務局】

まだ確定ではありませんが、2市1町でそれぞれ実施していた手話奉仕員養成講座については、来年度から入門、基礎、レベルアップ講座について2市1町で実施していく予定です。

【会長】

「手話通訳を行う人を公的機関に設置します。」とありますが実際にできますか。

【事務局】

会長が言われるように、人の配置の問題ですので、専門的に手話通訳者だけで配置することは難しいです。手話のできる方で、他の事業もやれる人を採用していくという方向で検討していく必要があると思います。

【委員】

町で採用していただき、その方が役場の仕事もしながら、通訳もできるといいですね。

【委員】

手話の方は、講座等の実施があるようですが、点訳のほうは、実施がないです。現在4人で活動しており、後継者がいません。パソコンでできるので少しは早くやれるようになりましたが、広報だけで精いっぱいです。以前は、社会福祉協議会で手話と点訳は交互に講座が実施されていましたが、点訳は、5名の応募がないと実施されずここ数年実施がない状況です。フェスティバルで紹介もしていますが、希望者はなかなか現れません。もう少し点訳のことも記載していただき活動の人数が増えていくといいと思います。

【会長】

点訳のことも記載すればいいですね。豊山町の計画ですので記載していただきたいです。

【事務局】

ボランティアの後継者がいないことも問題になっています。少しその辺りも含めて検討していきたいです。

【会長】

点訳のことも記載をお願いしたいと思います。その他何かありますか。

【委員】

手話のできる人と専門の人は違います。聴覚障害者のことを理解できる人をお願いしたいです。

【事務局】

少し難しいですので、ご意見としてお聞きします。

【委員】

参考までに申し上げますが、社会福祉協議会の専門性のある相談員の必要性についてですが、2市1町で開催している障害者支援協議会の相談支援部に豊山町だけ参加がありません。今後、基幹相談支援センターについても、設置が必要になってきますが専門支援相談員がないと難しいと思います。

【委員】

先日親グループの交流会が豊山町の社会教育センターで開催されましたが、事前の打ち合わせも社会福祉協議会の職員の方の参加がありませんでした。社会福祉協議会の職員を通して親グループがつながっていくので、核となる相談員がいてくれるとうれしいです。

【会 長】

社会福祉協議会のほうでは、そのようなことは議論に挙がっていません。町として社会福祉協議会に強くアプローチしてください。そうすれば、社会福祉協議会の中で検討されていくと思います。

【会 長】

この冊子については、本日ご審議いただいた箇所を事務局で修正及び検討をしていただき、第4期豊山町障害福祉計画としてまとめていくということですのでよろしいですね。第3回障害者福祉審議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

上記のとおり、第3回豊山町障害者福祉審議会の議事の経過及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、会長及び出席者2名が署名する。

平成27年1月7日

会 長 池 山 武 志

署名人 櫛 田 眞壽美

千 野 幸 男